授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅰ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	松下　美樹	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	W4-1005c				

【授業の主題】

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの視点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。人はどのような状態にあっても、尊厳ある営みが続いていくことが重要である。

「生活」とは何かを理解し、生活を支援するための様々な視点を把握し、基本となる介護技術の意義や目的を学習する。

【到達目標】

1. ICF の視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援につながる内容とする。
2. 自立支援に欠かせない、尊厳の保持、自己選択・自己決定の支援、介護予防の重要性を理解する。
3. 演習の基礎となる手洗いや、ベッドメイキングについて学習し技術を身につける。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　生活の理解
第 3 回　生活支援の基本的な考え方　① 介護福祉士と生活支援
第 4 回　生活支援の基本的な考え方　② 生活支援の必要な人を理解する
第 5 回　生活支援の基本的な考え方　③ ICF の視点と生活支援
第 6 回　スタンダードプリコーション（標準予防策）
第 7 回　快適な環境をつくる技術　① 手洗いの仕方
第 8 回　快適な環境をつくる技術　② ベッドの取り扱い方
第 9 回　快適な環境をつくる技術　③ リネンのたたみ方
第 10 回　快適な環境をつくる技術　④ ベッドメイキング
第 11 回　快適な環境をつくる技術　⑤ ベッドメイキング
第 12 回　快適な環境をつくる技術　⑥ ベッドメイキング ～技術確認
第 13 回　日常生活行動における意義と目的　（身じたく・移動）
第 14 回　日常生活行動における意義と目的　（食事・排泄）
第 15 回　日常生活行動における意義と目的　（清潔・睡眠）

【授業実施方法】

講義を基に、演習を行う。

【授業準備】

演習の基礎となる技術は、エビデンスを考え正しい技術身につけるようにする。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座 6　生活支援技術Ⅰ」
「最新・介護福祉士養成講座 7　生活支援技術Ⅱ」　＜共に中央法規＞

【参考文献】

適宜紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験 70%、技術チェック・授業態度等 30%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

・医療法人での介護職として医療的ケアをもとに身体介護を経験
・福祉施設での介護職として認知症ケア・日常生活への支援を経験
実務経験から得た介護技術や知識を様々な場面を想定し、実践しながら技術を身につけ、それに伴う知識も習得していく。
実例を用い、個別ケアの重要性や他職種との連携の必要性を考え理解を深めていく。

【学生へのメッセージ】

日常生活を振り返りながら、「生活」の理解、生活を支援することの考え方を理解していきます。
演習にも積極的に参加し、予習・復習を習慣化しましょう。